

「第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）」（案）、「千曲っ子教育ビジョン」（案）に対する意見募集の結果

～貴重なご意見ありがとうございました～

- 提出者数 1名
- 意見件数 3件

お寄せいただきましたご意見と市の考え方は、次のとおりです。

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>千曲っ子教育ビジョン(案)の P6 1-2 豊かな心の育成・健やかな体の育成(5)施策項目オ、カについて</p> <p>「学校の風土を『見える化』して・・・学校を安心して学べる場所にします。」とあるが、これは文科省が令和5年3月に打ち出した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策 COCOLO プラン」が元になった文言である。ここで言う「学校風土」とは、学校それぞれが持つ全体的な雰囲気のようなものであり、それが欠席日数に関連するという研究データがある。また、学校風土を正確に測ることのできる尺度が必要である(日本学校風土尺度 Japan School Climate Inventory)。</p> <p>ところがP10 オ いじめ・不登校への対応施策の方向性の内容にはそこについての記述が一切なく、具体的にどのような方法で、また何のツールを用いて「風土を見える化」するかについて曖昧である。</p> <p>そこで、施策の方向性の欄にはどのように「学校風土を見える化」し、生徒の心理的安全性を保障するかというところを具体的に明記する必要があると考える。</p>	<p>「学校の風土を見える化」につきましてはP10 「オ いじめ・不登校への対応施策の方向性」の記載のとおりであります。</p> <p>具体的な方法等としまして、</p> <p>「学校評価を活用して、児童生徒の授業への満足度や教職員への信頼感、学校生活への安心感等の学校の風土や雰囲気を把握します。」</p> <p>「全学校で一人1台端末を活用した心身の健康状況の確認、及び楽しい学校生活を送るためのアンケートや学校環境適応感尺度等の検査を通して、一人ひとりの心身の状況や学級等の集団の状況を把握し指導に活かします。」を追記します。</p>
2	<p>同じく千曲っ子教育ビジョンの P10 オ いじめ・不登校への対応 施策の方向性 の欄に「市教育センターの機能の充実を図ります」とあるが、COCOLO プランの同内容の項目「教育支援センターの機能を強化」の欄には「民間のノウハウを取り入れた不登校の児童生徒への支援が行えるよう、業務委託や人事交流等を通じて、NPO やフリースクール等との連携を強化します。」と民間との連携を明記している。</p> <p>また、「不登校児童生徒の支援に加え、その保</p>	<p>P10 オ いじめ・不登校への対応、施策の方向性の「市教育センターの機能の充実を図ります」には国の COCOLO プランに明記されている、民間との連携等の考えも含んでおりますので、ご理解をお願いします。</p>

	<p>護者が必要とする情報を提供するとともに、子どもたちが様々な学びの場や居場所に繋がることができるよう、地域の拠点としての教育支援センターに求められる役割を明確化します。」とある。</p> <p>そこで、「市教育センターの機能の充実」が上記の内容を含むものであるとわかるような記述、追記が望ましいと考える。例えば「教育支援センターの機能を、情報提供や多様な学びの場とのつながりの拠点となるべく、民間との連携を含め充実を図ります。」等。</p>	
3	<p>第二次千曲市教育振興基本計画(後期計画)(案)P10 各主体に期待される主な役割の市(行政)の欄について</p> <p>「親としての学びを支援する学習機会の提供」まではまだしも「子どもが親になるための学びの推進」という記述については、多様性を認め合うことを目指す現代社会の背景にそぐわないと感じる。「多様性を考慮のうえ」と後付けしても、基本的には「親になる」ことが前提となっているようで不快に感じる市民もいるのではないかと感じる。配慮を欠いた記述であると感じる。</p>	<p>第二次千曲市教育振興基本計画(後期計画)(案)につきましては、第三次千曲市総合計画との整合性を図るという考え方が基本です。今回、ご指摘いただいた事項も検討し「多様性を考慮のうえ」を追記した経過がございます。総合計画との整合性という観点から、ご理解をお願いします。</p>